



会長あいさつ

## まちづくり協議会活動の一年を振り返って

神話の郷末恒まちづくり協議会 会長  
山本 孝久

末恒地区の皆様、日頃より「神話の郷すえつねまちづくり協議会」の活動にご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

昨年5月、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類相当から5類に見直されたことで世界規模の大混乱は事実上収束し、大きく傷ついた経済や社会は感染症を乗り越え、回復しながらアフターコロナの新しい社会に向かっています。当協議会の活動も従来の地区住民のみなさんに密着した活動に戻りつつあり、徐々に賑わいを取り戻しています。

本年度の当協議会活動の中から主なものを紹介させていただきます。本年度の地区文化祭は、10月21日、22日の2日にわたって開催しました。当初から3年に一度の大文化祭として特徴を持ったものにしたいとの意見があり、実行委員会を何回か開催していく中で少子化対策につながるものを実施することが検討され、末恒小学校・第5幼稚園・白兔保育園の児童・園児などを中心に据えた文化祭を行うこととしました。ダーツ・めだかすくい等の出店各コーナーを回るスタンプラリーや、子どもたちに人気のある「白兔跳神イナバスター」によるキャラクターショーなどを盛り込みました。開催当日の天候は雨にもかかわらず参加した子どもたちの数は例年より遥かに多く、会場周辺に楽しそうな声が響き渡ることになりました。将来、この末恒を担ってくれる子どもたちが、一人でも多く育ててくれることを願っています。

この他、当協議会事業の柱としている5項目の地域コミュニティ計画に基づき行った、各種事業の主な内容及び成果は下記のとおりとなります。

- 「安心・安全なまちづくり」においては、自主防災会連絡会による指定避難所となっている末恒小学校で、地区住民のみなさんの参加をお願いし、避難訓練を実施しました。今後活かせる貴重な経験ができました。
- 「健康福祉と人権尊重のまちづくり」においては、人権標語コンテストを実施し、末恒小学校の積極的なご協力により、児童の心に残る大きな成果を上げることができました。
- 「人と人がふれあえる活力あるまちづくり」においては、主に小学生を対象とした「わくわく交流広場」など、地域の人たちと子どもたちの深いつながりができました。
- 「快適で住みよく環境にやさしいまちづくり」においては、春に地区全体で伏野海岸の清掃を行い、朝のすがすがしい気分を味わいました。
- 「自然環境や環境資源を生かしたふるさと再発見のまちづくり」においては、県内の白兔に関連した神社を参詣し、今後のまちづくりの参考としました。

以上、活動の主なものを紹介させていただきました。

当協議会は末恒地区の皆様と共に一歩ずつ「笑顔でつながる ふるさと末恒」に向かって、歩んで参りたいと思いますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

### 活動の様子



10/11 がま口ポーチづくり



うさちゃんサークル



末恒小学校切り絵クラブ

公民館HPアドレス

<http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/suetune-1/>

公民館Eメールアドレス

[cc-suetsune@it.city.tottori.tottori.jp](mailto:cc-suetsune@it.city.tottori.tottori.jp)

公民館HPの  
QRコード



公民館インスタ  
QRコード



事業の報告です。毎月のおたよりの裏面でも報告しています。主な事業を抜粋してご紹介いたします。

令和5年度の主な取り組み

- 計画の柱 ① 安心・安全なまちづくり
  - 災害に強く、交通安全、防犯対策の行き届いた安全なまちづくり
- 計画の柱 ② 健康福祉と人権尊重のまちづくり
  - 多彩な健康づくりの推進や、みんなで支え合い、子どもや高齢者、障がいのある人によさしいまちづくり
- 計画の柱 ③ 人と人がふれあえる活力あるまちづくり
  - 各種行事や地域学校の連携を通して人々がふれあう機会を提供することで、地域づくりに関わる人づくり、つながりづくりを推進し、地域の活性化を図る
- 計画の柱 ④ 快適で住みよく環境にやさしいまちづくり
  - 生活基盤・交通ネットワークの充実と環境保全活動の推進
- 計画の柱 ⑤ 自然環境や環境資源を生かしたふるさと再発見のまちづくり
  - 自然環境や地域の観光資源を生かした取り組みや、地域の歴史・伝統などの学習を通して地域の活性化を図る

柱2 7/11 はくとよろずや

高等部による「はくとよろずや」を開催しました。新鮮なお野菜や、窯業品、布・紙製品、木工品などがズラリと並んだ体育館で「いらっしやいませ!」の声



白兔養護学校 地域学校協働活動

柱2 10/6 プランターづくり

白兔養護学校の高等部生徒と地域住民が交流しながら手作りの植木鉢を製作しました。粘土を手で潰して、器具で平らにし、型どり、立体に組み合わせる作業をしましたが、その

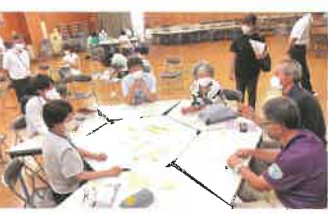


難しいこと!高等部の生徒さんが優しく教えてくださり完成させることができました。2月16日にはそのプランターに多肉植物の寄せ植えを行いました。その様子は3月末発行予定の「人権だより」でお知らせします!

末恒小学校地域学校協働活動 笑顔でつながる ふるさと末恒 ~子ども達のために汗をかき ちえをしぼる~

柱3 8/3 拡大学校運営協議会

昨年度に続き第2回拡大学校運営協議会が末恒小学校を会場に行われ、地域・学校・保護者約50名が出席して「子どもたちのために、保護者・地域・学校に期待すること」をテーマに熟議しました。少子化が進む当地区にとって子どもたちは正に「地域の宝」。お陰様で、学校と地域の連携についてはかなり理解が進んでいると感じていますが、よりふるさと末恒に愛着を持つ子どもが育つよう、三者が手を取り合っていきたいですね☆



柱3 6月~12月 わくわく交流ひろば

誕生から今年で17年目を迎えました。年6回小学校の昼休憩にお邪魔して昔遊び、ものづくり等で交流しています。秋には幼稚園・保育園児が訪れ、入学後にお世話になる5年生が引率し交流を深め、幼・保・小の連携の一助としても機能しています。これからも「学校・保護者・地域」をつなぐ活動として柔軟に対応しながら続けていきたいです。



柱3 9/29 さつまいもの収穫

今年のおイモのできはどうか...葉っぱはものすごく大きく育っているけどなあ...お天気はどうかなあ...とおそるおそる迎えたイモほり当日。館長さんや田中八代子さんのお話をおりこうさんで聞いて...いざ!!!なんとまあ...豊作!!「タイヤが足りない...」急いで追加を用意したもののあっという間に山に!えんやコラさと力を合わせて軽トラにみっちみに積んださつまいもは200kgは下らないと想像します。思わぬ大豊作に子どもたちは喜びに湧いていました。



柱3 7/25~8/8 夏休み宿題教室

今年度から小学校で行われる「夏休み宿題教室」とタイアップして、サマースクールを9日間実施しました。地域からの参加延べ人数はなんと79名!末恒小学校が抱える課題解決の一助になっていれば幸いです。たくさんの方々に温かく見守られながらすくすく大きくなってほしいですね(o^-^o)



# 令和5年度 事業報告

これまでに開催した

## 柱3 7/15 やまめのつかみどり

コロナ禍が明けて四年ぶりに実施しました。この日を待ちわびた参加者はなんと79名!



(スタッフ込み) 昨年の文化祭以来、久しぶりのおおにぎわいになりました。用意された150匹のヤマメはあっという間に子どもたちにつかまり、バーベキューの達人たちの手にかかりこんがり美味しくそう…社会福祉協議会のお母さんたちにお世話になりながら作ったおにぎりと一緒に美味しくいただきました。デザートは焼きマシュマロ! 外はカリカリ、中はトロトロの食感は最高でした。

## 柱3 12/27 お正月のフラワーアレンジメント

フラワーショップいのうえさんを講師にお正月のフラワーアレンジメントを行いました。花と花器、植え方は同じでも一人一人アレンジが違い、それぞれの良さを感じました。新年をステキなお花で気持ちよく迎えることができたら幸いです。来年度も計画していますのでご期待ください。



## 柱2 6/26 末恒地区公民館長杯グラウンド・ゴルフ大会

今年こそは…と祈りましたがあいにくの小雨模様の中、60名の参加で実施しました。普段から熱心に練習に励んでいる猛者や、一年に一回この日だけ、と参加者層も様々なので親睦に重きを置いて和気あいあいとプレイが繰り広げられました。大会運営にあたり、実行委員の皆様には大変お世話になりました、ありがとうございました。お陰様で盛会のうちに終了できたことに感謝申し上げます。



## 柱3 11/14 大人たちの社会科見学

ジオパークの学習も含めて訪れた、豊岡・出石方面。13名の参加者とともにバスに揺られ余部空の駅、玄武洞ミュージアム、コウノトリの郷公園、城下町出石でそば打ち体験を行いました。玄武洞ミュージアムでは参加者の目がキラキラ、宝石や鉱石にうっとりしました。出石ではそば打ち体験。先生のご指導のおかげで美味しいそばを打つことができました。新日本観光の添乗員より車内ではジオパークのお話、出石では地元ガイドに案内をしていただき有意義な旅となりました。



## 柱3 1/18 魚のさばき方教室

地域の方からリクエストがあり、「握りの頂点」の総料理長を講師に招き行いました。1月ということで旬の魚種が少なく心配しましたが、「お寿司を作る」。それも握りで!!この日準備されたネタは、鯛や鯖、ウニ、イカ、いくら…お口の中が竜宮城や♡鯛と鯖はプロの指導のもと丁寧なさばき、握り寿司・軍艦巻き・細巻を作り持ち帰りました。出来上がった豪華なお寿司に目を輝かせる参加者の皆さんでした。



## 柱3 1/27 日帰り子どもスキー教室

当日まで心配していた雪も十分な量が積もり、風もなく視界良好! 最高のコンディションの中、児童9名と講師の先生含め大人9名とスキー教室を行いました。うまくいかなくて悔し涙を流す瞬間もありましたが、マンツーマンの丁寧な指導のおかげで子どもたちはメキメキ上達していき、お昼ご飯を食べて心機一転してからは初心者も滑れるようになりました。コツをつかんでからはリフトに4回も乗って、ゲレンデを颯爽と下れるようになり、帰る頃には『もっと滑りたい!』と名残惜しそう。子どもたちの「できた!」の瞬間に立ち会い、そのキラキラの笑顔に大人たちも元気ももらいました。



## 柱3 5/15 11/8 2/7 すえつねひろば

「わくわく交流ひろば」の実施がない月に、学校カフェを活用して「すえつねひろば」を開催しています。ハンドベルやギターの生演奏が行われ、ギター演奏では「おどるポンポコリン」や「勇気100%」など子どもたちが良く知っている曲などが披露され、子どもたちが一緒に口ずさんでいる様子が見られました。その他にも将棋やオセロ、折り紙などで地域の方と交流した後、地域の方と児童が力を合わせて掃除をし校舎を一緒に綺麗にする、などの取り組みを行っています。



## 柱3 2/9 すえつね子どもネットワーク懇話会

ボランティアに登録していただいているスタッフが集まり、今年度の反省と今後について情報交換を兼ね、2月9日に懇話会を行いました。改めてたくさんの活動に、たくさんの地域の方々に関わっていただいていることを痛感し、子どもたちに注がれる愛情の深さに頭が下がるばかりです。また、県の研修会で発表することになった当地区の取組について館長より説明があり、さらに活動の意義について理解が進んだと感じました。その後の懇親会も非常に盛り上がり、お楽しみがあることが地域の活性化につながるのだな、と実感しています。



柱3

10/21  
10/22

神話の郷すえつね文化祭

### 久々のフル開催(拡大版)に子どもから大人まで大満足

末恒地区公民館

館長 山本 英世



10月21日(土)・22日(日)の2日間に渡って「2023神話の郷すえつね大文化祭」が開催されました。コロナ禍によりここ3年間は、規模を縮小するなど様々な制限を加えながらの実施でしたが、今年度は制限なしでの開催となりました。

そして、今年度の文化祭は地区の三大行事の一つとして盛大に開催することをまち協の幹事会で協議し、特に、少子化が進む地区を賑やかにするため、子どもに特化したイベントを盛り込んだ拡大版の文化祭としました。

初日は、あいにくの雨模様でしたが、子ども主体のイベントや芸能ステージとし、多くの子どもたちや地域の方の来場がありました。子ども縁日でダーツや射的、メダカすくいやハロウィン、スタンプラリー、マジックショーやイナバスターのショーなどを楽しみ、ニユースポーツの「モルック」体験や豪華景品ビンゴ大会は大盛況でした。



- スタッフ/約150人
- 作品展示/
  - 個人23
  - 4サークル34人
  - 3施設
  - 保幼小中養護5



柱3

11/5

### 末恒地区自主防災活動避難訓練

#### 令和5年度の活動をふりかえり

末恒地区自主防災会連絡会 会長 小柴 克郎

令和六年は元日から北陸地方、能登半島での大地震、波乱の幕開けとなりました。被災地の方々には新年の喜びも束の間、一気に奈落の底に突き落とされた感じでしょう。不自由な環境、寒さの中で大変な思いをされていることと思います。早い復興をお祈りします。

被災地などでよく行われている炊き出しですが、昨年の末恒地区文化祭で自主防災会でも炊き出しを実施しました。豚汁三百人前を目標に防災リーダーが集まり、学校給食の仕事をされていた地域の方に指導を仰ぎながら野菜の皮をむき、刻み、慣れぬ手つきでしたが、大量にあった材料を刻み終え、前日の準備終了。翌日の本番、順調にお湯も沸き、ほぼ想定の内時間で準備できました。最初はどれくらい材料、調味料を準備するか心配していましたが、材料さえ揃えばなんとかなるという自信もつきました。

防災クイズでは子どもたちが色々よく知っていることに驚かされました。学校での指導や訓練によるものでしょうが、大人がしっかりリードしてやればきちんと行動できると思います。私たち大人が災害を正しく理解し、冷静な判断での確な行動がとれるようにしなければ子どもたちもパニックになっ

てしまいます。十一月の避難訓練では地域の方にも協力いただきありがとうございました。避難所の開設、受入れ、人数確認だけでもいろいろ課題が見つかりました。課題をクリアしていくためには地域の皆様の理解と協力が必要となります。自助・共助の精神を忘れず、共に助け合える地域を目指しましょう。





2日目は、さわやかな秋晴れとなり、朝から大勢の来場者で賑わいました。会場となった公民館駐車場には久々にトラックステージがセツトされ、逢鷲太鼓連の迫力ある和太鼓演奏で芸能ステージが始まりました。また、会場内での飲食制限もなく、会場には多くの模擬店がならび、野菜や米、加工品などお目当ての品はあっという間に完売していました。

二日間で千人を超える来場者があり、大変賑やかな文化祭となりました。地区体育館での作品展示や公民館内での映画上映会にも多くの人が集まり、閉会式前のお楽しみ抽選会も盛り上がりしました。

こうして盛会のうちに幕を閉じた文化祭は、出演、出品、体験、販売など過去最多の45の個人、団体を数え、スタッフも150人以上と地域をあげての文化祭となりました。みなさんのご協力のおかげと感謝申し上げます。



柱5

10/31

ふるさと探訪「もう一つの白兔伝説」

秋晴れの気持ちの良い天気の中、バスに揺られ『もう一つの白兔伝説』の地、八頭町にある福本白兔神社、青龍寺を訪れました。福本白兔神社では観光協会のガイドの方に紙芝居で山の白うさぎ、天照大神(あまてらすおおかみ)にまつわるお話をしていただき、青龍寺では、ご住職様からさらに詳しく白兔伝説についてユーモアを交えながらお話していただきました。霊石山や氷ノ山とのつながりなど、鳥取に住んでいても知らなかったことを深く学ばせていただきました。



柱2

11/13

すえつねけんこうウォーク

あいにくの雨模様となりましたが、訪れるはずだったつづらお城跡の歴史を伏野の田中久さんよりスライドでご説明いただき、鳥取城を兵糧攻めにするための陸路の要を抑えられた悲しい過去に思いを巡らせました。現地を歩くことができず残念でしたが、参加者は熱心に耳を傾けていました。そのあとは、しゃんしゃん体操やモルック体験会を行い、世代を超えた交流で大変盛り上がりしました。



当地区では平成30年に「郷土誌すえつね」、令和2年に「郷土誌すえつねDVD」を刊行し、8年目を迎えた「ふるさと探訪」事業や、ウォーキング事業等に活かしています。県内外で未恒地区に所縁ある場所を探し出す作業は困難な時もあります。現地学習をすることで郷土愛の醸成に努めています。アイデアが浮かんだらぜひ公民館事務局までお知らせください。一緒に考えて下さる参画者も募っています☆

ふるさと再発見!!  
すえつね街歩記



サークル紹介

イングリッシュ・カフェ

令和5年度より開講し前期と後期に分けて10回ずつ行っています。歌やゲームで言葉を覚えたり、おやつをいただきながら世界地図を開いて場所の確認や文化について学んだりと楽しくレッスンしています。現在は小学生を主に教えていますが、お孫さんと一緒に参加もOKですので、お気軽に覗きに来てくださいね♪詳しくは公民館まで★



デイサービス・がまの穂の送迎  
ウォーキング事業



NPO法人OMUが平成21年2月に「ふるさとバス」を運行開始して15年になりました。現在は、美萩野だけでなく湖山地区の病院にも停車しています。今では高齢者の足としてなくてはならないものとなっています。利用される皆さんから、「このバスがなかったらどこにも行けんが。助かってるで。」との声をお聞きます。昨年12月からは伏野地区にも運行しています。

また、昨年「ふれあいデイサービス」と「がまの穂綿サロン」の送迎を実施しています。今後も地区のお役に立てればと思っています。

さらには昨年の「うさぎ年」に合わせて観光事業を実施しています。白兔はすでに有名な観光地となっていますが、牛込海岸、北野神社、大崎城、御熊神社も売り出し方によっては観光地になると考え実施したところ。11月には東京から鳥取に初めて観光に来られた方が当法人のツアーに参加されました。「白兔以外にもこんな魅力ある所があるとは思いませんでした。案内していただけて良かったです。」と高評価でした。

今後もOMUの事業を通じて末恒地区の発展に寄与したいと思っていますので、ご支援ご協力をお願いします。

NPO法人OMU 理事長 高橋 慶治



コラム ～え・ん・む・す・び～ このコラムでは、地域にゆかりのある方からのよもやま話をご紹介します。

末恒郵便局に着任して 末恒郵便局長 西尾 英樹

令和5年4月に因幡西郷郵便局から末恒郵便局長として着任した西尾英樹でございます。

幼少時代から湖山地区で育ったこともあり、湖東中学校校区でもある末恒地区には友人知人もおり、親しみを持って末恒郵便局に着任しました。

着任後間もなく、まちづくり協議会総会、末恒地区歓送迎会でご挨拶の場を設けていただき、皆さんに笑顔で迎えていただけたことを大変嬉しく思いました。

その後も様々な地域行事へ参加させていただいてきました。

初参加、初体験でブービー賞をゲットした「末恒地区公民館長杯グランドゴルフ」やバルーンアートで出店した「神話の郷すえつね大文化祭」、末恒小学校3年生以上を対象に暑中見舞いはがき作成をした「手紙教室」など、多くの地域の方と交流をさせていただきました。

今後も郵便局窓口だけでなく、地域行事を通じて地域の方と関わりを深めていきたいと思っております。

現在、末恒郵便局では、郵便、貯金、保険業務の他、お客さま利便性向上の一つとして昨年8月より鳥取市からの委託を受け、「マイナンバーカードの申請支援事務」を開始しました。おかげさまで多くの方にご利用をいただいております。

郵便局が地域のために何かできないことがないか模索している日々でございます。

末恒郵便局が地域の皆さまから必要とされ、頼られ、地域に根ざした郵便局として末永くご利用いただけるよう取組んで参りますので、ご意見ご要望等ございましたらお気軽にお寄せいただければと思います。

今後とも末恒郵便局をどうぞよろしくお願いいたします。



バルーンアートの模様

編集後記

急な原稿依頼にもかかわらず、いつもどの方も快く応じてくださいますことに心より感謝を申し上げます。さて、新型コロナウイルス感染症が5類に見直されました。活動も徐々に活性を取り戻しつつあることに喜びを感じています。これからも地域の皆様からのニーズに応えながら、ともに地域を盛り上げていく仲間探しに力を尽くしていきたいと思っております。

